

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員の目につくところに貼ってある（居間・トイレ）理念を確認し入居者様がゆっくり、楽しく過ごして頂けるように常に心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で行事等の参加は出来なかった。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の奉仕作業に参加し地域住民の方々と話をしたり、ボランティアで草刈りに来てくださる少年団の方々との触れ合いなど機会があったら積極的に触れ合うことを心がけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員さん、地域包括センターの方など『運営推進会議』に参加していただき他の施設などの取り組みを伺い施設で話し合いを持ちサービス向上に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故発生時、介護保険課へ早急に報告しています。地域包括支援センターには、色々な相談を行っています。市や県からの研修案内など介護に役立つ情報を積極的に取り入れている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設けています。月に一回開催されるカンファレンス時に職員間で問題がないかを確認し、定期的に勉強会を実施しています。入居者様の安全を重視しながら、見守り強化、職員間での声掛けを徹底しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会を設けています。月に一回開催されるカンファレンス時に職員間で問題がないかを確認し、定期的に勉強会を実施しています。入居者様の安全を重視しながら、見守り強化、職員間での声掛けを徹底しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間計画の中に『虐待防止』の項目を入れ意識的に防止を行っている。入浴時のボディチェックや日常の声掛けなどにもきをくばっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、計画作成担当者が入居契約書、重要事項説明書を細部に至るまで説明を行っています。ご家族の疑問点や不安なお気持ちに寄り添い問題解決し理解、納得して頂いてから契約を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置を行っています。ご家族の面談時、病院受診同行時など機会のある時に要望を伺い、職員間で話し合いを持ち要望に沿えるよう行っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス等で意見交換を行っているが職員によっては決まったことを伝えられるだけで、なかなか意見を聞いてもらえる機会のない職員もいる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人員不足が続いており十分に休みが無く、有給休暇所得も希望通り取れない。資格所得を推奨し、やりがいに繋げている。合格手当、資格手当などの条件を整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で研修自体に参加する機会が少なかった。法人内の研修に参加する機会が設けられている。職員間での力量にばらつきがあるのもっと研修に参加できる機会を増やしていきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍でありなかなか直接交流する機会に恵まれなかった。研修会や勉強会に参加しサービスの質の向上出来るように積極的に参加していきたい。系列施設の研修会が開催され刺激になった。人員不足の解消が先決</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の希望していることは何なのか、不安なことは何なのか？その原因を探す努力と並行して安心していただける信頼関係の構築、胸の中にある思いを吐露していただけるよう傾聴し関わっていく。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安なこと望まれていることに耳を傾け、安心していただけるよう連絡をまめに行い職員間で情報共有し近況報告しながら問題の解決と信頼関係の構築に職員一丸となって努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要だと考えられる現状の情報と今後必要と予測されるサービスの把握を行い計画作成を行い対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の幼少時のお話やご家族と過ごされてきたお話など伺い、今までも一緒に生活してきたという心地よい環境づくりを心がけ、一人にさせない、寂しさを感じさせないように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に近況を伝えられる機会を作っています。毎月ご家族へのお手紙を出しています。苑内での生活の状況をお伝えし安心していただけるように努めご家族との信頼関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍ではありますが、ご家族の面会や知人の面会など入居者様が大切にしてきた関係性が途絶えないように保てる努力を行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ケアハウスからの入居者様は顔なじみでありコミュニケーションが図れるようにしています。同じ思いの入居者様同士を席の近くにしコミュニケーションが図れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されてもご本人やご家族様が安心して相談できる環境を作りフォローに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の変化、入居様に寄り添い希望や意向の把握に努めています。職員間の情報共有を行い入居者様にベストな対応を常に検討行なっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様やご家族に今までの生活についてのお話を伺っています。職員間での情報共有も行っていきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の様子観察。関わりの中での情報収集、職員間での情報収集を行い、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	今までの生活をご本人から伺い、ご家族からもお話を伺い、職員間での情報共有を行い現状を各々が把握し、最善の計画になるように作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の入居者様の状況、変化、気づきを介護日誌、個別記録、職員間の連絡帳、朝礼時、緊急時には電話連絡を使い、情報共有を行いケアに対して漏れの無い状況をつくり介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の変化には職員間での情報共有を常に行い、最善策を職員やご家族を踏まえて話し合い、ご家族や入居者様が安心して過ごせるようケアプランに沿って取り組んでいる。諸事情により場合によってはすぐに取り組</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍であり地域資源との協働が出来ない状況にあり、地域との交流を行う意識、情報収集は行っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問診療、定期受診、受診を職員、ご家族、ヘルパーで連携して行い結果を電話、手紙で報告している。緊急時などご家族に連絡し指示を受け適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携訪問看護は週に1回の訪問がありバイタルチェック、爪切り、治療の処置など入居者様の体調の管理をして下さり、相談、アドバイスを受けられるように連携が図られ支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>看護サマリーを記入し入居者様の既往歴等を報告し治療に遅延のない様に連携を取っています。回復後の早期の帰苑の為に病院の相談員から情報を得てご家族と情報共有を行い安心して帰苑出来るよう双方と関係づくりを行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族や入居者様のご希望を伺い希望に沿って『看取り介護』を行っています。最後の時をどのように迎えて頂きたいかの希望はご家族の気持ちが変わっても即対応できるように主治医、緒機関と連携を取り支援しています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDの設置を行っています。入居者様の急変、事故発生時に対応できるように定期的にカンファレンス時や研修会に参加し実践力を身に付けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、地震、水害時などの災害時にどのように避難すべきか、避難しない選択など災害に応じて入居者様の安全を第一に考えて定期的に訓練を行っています。近隣の住民の方々にも常々お声かけを行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬い、言葉使いやお声がけを行っている。尿取り交換時などドアやカーテンを閉めたり耳元で話をしたりと心がけている。が、時として入居者様の近くで排便の有無など確認することがある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望をかなえられるように心がけてケアを行っている。自己決定出来るようなお声がけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日常をその人らしい暮らしになる様に希望を伺うようにしているが、時として希望を聞けない時もある。ずっと眠っておられる入居者様には起きて頂くことや入浴など		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お気に入りの洋服を身に着けて頂いたり、ご家族に了解を得てカット時に髪染めをして入居者様のおしゃれを楽しんでいただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お誕生日など入居者様の好きな献立を伺ったり、季節を感じる献立を立てています。衛生上準備は難しいですが、片付けはお盆拭きなど手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の必要摂取カロリー計算を行って献立を作っています。入居者様一人一人に合わせた食事形態、食器の種類などを使用し、食事、水分摂取等を記録して確認を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後に個人の口腔内の状態に合わせてケアを行っています。義歯使用の入居者様は夕食後には義歯洗浄剤を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	立位が少しでも保てる入居者様には、日中リハビリパンツにて過ごして頂いています。定期的にお声がけしています。夜間は入居様の睡眠に合った排泄スタイルを取っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表に日々記入し入居者様一人一人の排便リズムを把握しています。朝食時に牛乳を飲んで頂いたり、水分を多く摂取して頂いたりお声がけしています。体を動かすお声がけもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一週間の目安として入浴スケジュールがケアプランに沿って立てられていますが、入居者様の体調によって変更することがあります。入居者様のADLに合わせた入浴を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や状況に応じて希望に添えるようには職員と情報共有しています。尿取りなどの使い分けを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の服薬の情報は情報共有できるようにしています。服薬の変更があった場合、受診ノートや介護日誌、連絡帳を使用して情報共有を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	共同生活の中で入居者様一人一人の楽しみごとに添えるようには心がけています。全てに応えることは難し状態です。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍であり外出はなかなかできない状況です。病院受診時など桜の季節、秋桜の季節には苑車を使用し散策に出かけています。ご家族の協力には、協力を頂けるご家族となかなかご都合がつかないご家族の状況があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いは施設で預かっています。必要な品物等は購入できるようにしています。ご家族に協力を得ています。ケアハウスでお買い物できるようにしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様の希望に添えるように支援しています。携帯電話を所持されている入居者様には好きな時間に話して頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日掃除を行っています。オゾン発生器を設置し安心安全清潔な空間づくりを行っています。季節行事の飾りを入居者様と一緒に作成展示し季節感を出せるように支援しています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様の状態に応じて、気の合う入居者様を話が出来る距離感で席の工夫を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が今まで使い慣れた品物や見慣れた飾り物や写真などご家族と相談しながら置いています。レク時の作成物など飾っています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全に生活できるように手摺や段差など配慮しています。一人一人の力を活かしているかは工夫が足りないと思う。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない